

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年2月27日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105222
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ西伊敷
所在地	鹿児島県鹿児島市西伊敷四丁目45番5号 (電話) 099-228-2772
自己評価作成日	平成29年1月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅街に位置し、広い庭には花壇・菜園を設け利用者様と共に苗を植え・種をまき端正に育て旬の物を調理、食す楽しみ、又、四季おりおりの花を育て楽しんでおります。
毎朝の集いの中で、利用者様方それぞれの思いを伺い、天気など考慮し業務にとらわれない支援を行っております。
また、お一人お一人の状態を把握し可能な限り心身のレベル維持向上に努めた支援をおこない常に理念を意識したケア提供に取り組んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは2階建てビルの2ユニットで、周囲には幼稚園や病院・コンビニエンスストア・大きな公園・バス停等があり、散歩や買い物にも外出しやすい環境にある。
- ・町内会に加入し、地域との交流も積極的に進めている。地域の人々が事業所中の「地域交流室」や庭で夏休みのラジオ体操を小学生と一緒に行う等、日常的に地域と交流している。
- ・利用者が張り合いのある日々を過ごせるように、花や野菜を育てたり、ドライブや買い物に出かける等、その人らしい生活ができるように支援している。
- ・管理者は職員が働きやすい環境作りに配慮し、研修等への出席も奨励している。職員間のコミュニケーションも図られ、アットホームな雰囲気家族の信頼も厚い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ネームの裏にも記載され毎日の朝礼で唱和を行い常に理念を意識したケア提供に努めています	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念で、玄関や事務所・ホールに掲げ、ネームの裏やパンフレットにも掲載している。年間目標への反省や次年度の目標を作成している。朝礼時に唱和し、事例を出して話し合っって理念を実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	散歩の途中で挨拶を交わす、地域の文化祭・町内会祭りに参加したり子供達が夏休みに実施されるラジオ体操に参加するなど交流を図っています。	自治会に加入し、文化祭や夏祭り等の地域行事に積極的に参加している。ホーム行事の誕生会や敬老会等に地域住民が参加している。中学生の職場体験学習やボランティア団体・個人で尺八演奏等を受け入れている。夏休みには事業所内の庭でラジオ体操を行い、地域と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	常に町内会会長氏と連携を図り情報共有や運営推進会議等で意見を交わすなど行っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議で、ホーム行事や取り組み・現状など報告を行い、だされた意見・情報はホームミーティングなどで話し合い反映させています</p>	<p>会議は定期的開催し、集まりやすい夕方6時半からの時間である。事業所の状況や外部評価の報告等を行い、参加者から多くの助言や提案が出されている。菜園の野菜作りのアドバイスや防災についての助言を運営に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>介護保険課・高齢者福祉・身障など必要時は市役所へ出向き取り組んでいます</p>	<p>市担当者とは、関係書類の申請など手続を窓口に届けたり、事業所の実情や取り組みを伝え、助言を貰っている。毎年介護相談員を受け入れ、市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>契約書にもホームは絶対に拘束をしないとうたっています 生命・身体に害を及ぼす時は、ご家族様・第三者等へ相談を行い適切に対応しています</p>	<p>マニュアルに沿って委員会で毎月勉強会を実施し、事例を出して対策を考えたりしている。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、寄り添い散歩をする等、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部・内部と虐待について研修に取り組み職員間でもケア提供時常に注意を払う取り組みをおこなっています</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関しては、主として管理者・計画作成担当者が必要時に支援できる体制をとっています</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時に契約書に関しては、十分に説明を行い、一度持ち帰り熟読していただき疑問点や質問があった時は、再度、丁寧に説明を行っています</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年に2回家族会が開催され、ご家族だけで話し合う場を設け、そこで出された意見など伺ったり来所時に承ったり、各利用者様方の居室にノートが設置され自由に意見・要望が記載できる取り組みを行い反映させています</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、市相談員の相談結果も参考にしている。家族からは面会や家族会・電話等で意見を聞いている。毎月の事業所の便りと生活の様子を送付したり、居室にノートを置き、自由に思いを記入してもらっている。生活状況の紹介の仕方に提案があり、意見を運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>業務の最中・ミーティング・交流時など常に言える環境を整え全員で検討を図り反映させている</p>	<p>管理者はミーティングや職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。ケアに関する意見や提案が多く、職員全員で検討し意見を反映させている。相談事は個別に聞き、適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業時間など職員間の負担軽減を図り研修等など有料の場合など法人負担するなどスキルアップ体制を整えています</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修参加は大いに進め本人希望があれば支援しています、また、提案も実践しています</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他ホームへ研修目的で交流し観たり聞いたりした事や思いは、自ホームへ持ち帰り全員で検討を図り質の向上に取り組んでいます</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	入所前訪問、面談を行い馴染みの関係づくりに努めています		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	じっくりと話を伺い、ホームでできること、できないことを伝え関係づくりに努めています		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	現状を見極めその時必要なサービスを提案し本人・ご家族様と検討を図っています		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	人生の先輩方である利用者様方のできること、できないことを見極め共に行い、知恵を授かったり教えていただきながら生活をしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様方と連携を図り共に支援しています</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご友人達の来訪や昔の習い事のお仲間たちがよく訪問してください</p>	<p>親戚や友人・知人・教え子等の面会が多く、来訪者にはお茶を出している。馴染みの理美容院利用や整骨院など継続的關係が途切れないよう働きかけている。電話の取次ぎなども行っている。家族の協力で外出や外食・墓参等の支援をしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>個々の居室を訪れたり、お茶をのみ本の貸し借りをされたり仲良く過ごされています</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所されたご家族様方より相談があったり、利用者様の紹介があったりします、その都度、対応しています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	朝の集い・ケア提供時など利用者様方の言葉・思いを聞き逃さないようし、情報を共有して支援しています	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。朝の集いや入浴などの時、会話がはずむので、その時思いを聞いたりして、本人らしい生活ができるように反映している。意思疎通が難しい時は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前・入居時・入居されてからも情報収集に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人ペースで生活を営めるよう支援しています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンス・来所時に意向・思いを伺ったりとその時の心身の状態に適したプランづくりに努めています	本人や家族の意向を確認し、担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは毎月実施し、3ヶ月毎に検討している。必要時には見直しをしている。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録は全てパソコンでの入力となっています。送り・カンファレンス等で現状の共有を図りプランへつなげています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時に必要な支援を受けられるよう努めています</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>好みの美容院へ行ったり、外食へ出かけるなど思い思いに生活をされています</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医は、本人・ご家族の意向重視です、その都度必要な受診はご家族と相談しながら支援しています</p>	<p>受診は本人及び家族の希望を大切にしている。ほとんど協力医療機関が主治医となっている。訪問診療もある。通院は事業所で同行支援し、他科受診は家族の協力を得て支援している。緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	主治医・ご家族様と相談を行い支援しています		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	常時、担当主治医・病棟看護師・病院ソーシャルワーカーと連携を図り早期退院に向け支援しています		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	契約時に終末期・重度化に関しては話し合い、その都度、必要に応じて主治医・ご家族様を交え支援しています	指針に基づいて重度化に伴う対応を説明し、同意書を貰っている。状況変化により本人や家族と話し合い、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取り希望の場合は医師や看護師・職員が連携を取り、随時意思を確認しながら取り組んでいる。看取りの事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年1回は、消防による救命救急の訓練を実施しております。急変や異常時は協力病院ホットラインへ連絡を入れ指示を仰ぐなどしています</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>町内を交え防災訓練を行うなどしています</p>	<p>消防署立会いのもと年2回、自主で年4回の昼夜想定避難訓練を実施している。訓練時には張り紙等で近隣に知らせ、地域の住民が参加している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、緊急連絡網に地域住民の登録があり協力体制が整っている。災害時の水や米・缶詰・乾パン・保存食等の備蓄がある。防災頭巾やヘルメット・マイク・笛の防災品もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全室、個室となっており、入室する際は言葉をかける・共に行動するなどしています	誇りやプライバシーを損ねない言葉かけやケアに取り組んでいる。部屋への入室はロックしたり、トイレではドアを閉めたりしている。言葉使いはゆっくりとていねいに行い、呼び名は「さん」付けで対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	朝の集い・ケア提供時に思いを言える環境を作り把握に努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	受診や特段のことが無い限り本人ペースで過ごされています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自立度に応じ支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できることを見極め共に行っています	月1回、栄養士の助言を得ながら、バランスのいい食事になっている。差し入れや菜園の野菜を使ったり、旬の食材で、個々に応じた食事形態を工夫している。野菜の下ごしらえや味見・片づけを職員と一緒にしている。誕生会や外食・季節の行事食等で食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給は1時間に1回の補給に努め、飲食に関しては、その方に応じた支援をしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	近隣の協力医療機関である歯科医の指導の下飲食後は口腔ケアを実施しています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お一人お一人のADLに合わせた支援をしています	排泄のリズムを把握し、必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。2人介助の時もある。利用者の意思を大切に、排泄用品を工夫している。夜間のみポータブルトイレを使用している利用者もいる。おむつから改善できた事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給・運動・個々の支援を実施しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	夜間帯は、安全確保が難しい為入浴は実施していません 日勤帯に、ゆっくり・ゆったりと浴槽につかり楽しんでいただいています	入浴は基本的には週3回であるが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応し、足浴や清拭も行っている。入浴後に保湿クリームを使用している。個々に応じた入浴支援でコミュニケーションの場ともなっている。入浴を嫌がる利用者には時間や職員を変えたりして、無理強いはしないようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後は、安静臥床の時間を設け、本人ペースで過ごせるよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	居宅管理指導を入れ服薬に関しては、薬剤師が準備・設定・主治医との連携を図り、副作用等についても指導を受けています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できることを見極め役割を持ち生活されています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族と共に外出されたり、希望されたことには可能な限り支援するよう努めています	日常的には天気の良い日は、近所を散歩したり、庭で外気浴を楽しんでいる。個々人の希望で、寿司店やコンビニエンスストア・ドライブ・理美容院利用・墓参等に出かけている。計画を立てて、地域の行事や花見・ソーメン流し・買い物・ドライブ等に出かけている。家族の協力で外出や外食・墓参等の際にも支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは、ホーム側で預かり、紛失されてもよしとされる金額は、ご家族様と話し合い所持されています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	自由にされています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	位置配置が、解る工夫を行い思い思いに過ごせるよう支援しています	共用空間は、採光や換気・温度・湿度に配慮し、加湿器やエアコンが設置してある。玄関やホールには季節感を大事にした花や飾りつけがされ、ホールの座っているところから台所が見えて食事準備のまな板の音や美味しそうな香りがして、職員も見守りができるようになっている。壁には避難用の防災頭巾やヘルメットが準備しており、談話室や和室で居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	談話室や、自室は全て個室となっているため自由に過ごされています		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	入所時に、本人の居室とわかるよう物品を揃えていただくようお願いしたりしています	居室はベッドが設置されている。寝具やタンス・加湿器・時計・仏壇・テレビ・家族の写真・ぬいぐるみ等、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、居室の入り口は格子戸風で、落ち着ける空間になっている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	役割分担表や日付変更・日めくりカレンダーを破るなど個々のできることに視点をおき、安全に移動できるよう工夫しています		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない